## 令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

## 教科名 音 楽

番号	発 行 者 略 称 教 科 書 番 号
観点	教出 (教育出版)
取扱内容	○ 授業の目標達成するための学習活動の取り扱い方について 全学年、教科書上部に [共通事項] を設けているのが特色で、目標達成に向けての音楽要素が明記され、指導者が指導計画を立てやすく編集されている。
	<ul><li>○ 歌唱(教材)について</li><li>第1,2学年~ 身振りを入れることにより楽曲の特徴を捉えて歌いやすくなっている。</li><li>第3,4学年~ 曲の情景や特徴を捉えて表現するようになっている。</li><li>第5,6学年~ 旋律の動きに自分の思いをのせて、響きのある声で表現するようになっている。</li></ul>
, 学習指導要領の総則及	<ul> <li>○ 器楽(教材)について</li> <li>第1,2 学年~ 必要な技能の定着のための手立てが明確になっている。</li> <li>第3,4 学年~ アンサンブル活動を通して協働して表現する楽しさを味わえるようになっている。</li> <li>第5,6 学年~ 楽器の組み合わせや表現効果を工夫しながら主体的に表現できる内容になっている。</li> </ul>
の総則及び各教科、	<ul><li>○ 音楽づくりについて</li><li>第1,2 学年~ リズムづくりなどを中心にした音遊びになっている。</li><li>第3,4 学年~ 楽器の組み合わせ等を考えて様々な発想を生かした音楽づくりができるようになっている。</li></ul>
各学年の目標・内	第5,6学年~ これまでの音楽経験に基づく即興的な音楽づくりができるようになっている。 <ul><li>○鑑賞について</li><li>第1,2学年~ 曲に合わせた身体表現等を通して音楽要素を学習できるようになっている。</li><li>第3,4学年~ 楽曲の構造に注目して鑑賞し捉えた内容を他に伝えるようになっている。</li><li>第5,6学年~ 楽曲の構造や楽器構成などから作曲者の思いを感じ取り、自らの表現方法を磨き上げられるようになっている。</li></ul>
内容等	○ 学習指導要領に則る内容について 第1,2学年「みんなで合わせて」、第3,4学年「わたしたちの表現」、第5,6学年「音楽に 思いをこめて」の単元において、児童の考えや思いを広げる活動が効果的に取り上げられて いる。
内容の構成・	<ul> <li>○ 内容の構成・排列について</li> <li>第1,2 学年~ 就学前の学習と関連させているのが特色で、楽しく音楽の授業に参加できるように、リズムや身体表現を効果的に排列している。</li> <li>第3,4 学年~ アンサンブル教材などを通して、協働して音楽活動する楽しさや、楽曲のよさを見いだすように構成されている。</li> <li>第5,6 学年~ 我が国や世界の多様な音楽を学習し、生活との関わりを感じながら、生涯を通して音楽が楽しいと感じられるよう構成されている。</li> </ul>
排列·分量等	○ 分量について 〈歌唱〉1年36、2年34、3年29、4年28、5年26、6年28 〈器楽〉1年7、2年10、3年19、4年10、5年12、6年10 〈音楽づくり〉1年13、2年9、3年10、4年5、5年4、6年4 〈鑑賞〉1年14、2年18、3年19、4年42、5年67、6年7 〈総ページ数〉1,2年76ページ(6%増)、3年78ページ(5%増)、 4~6年78ページ(前回同様)
慮等 年 上 の配	<ul> <li>○ 知識や技能の定着を促すために、振り返り (カエルマークと矢印) を配置し、繰り返し学習ができるようになっているのが特色である。</li> <li>○ 「学びナビ」「学び合う音楽」「音楽のもと まとめ」(3~6年) コーナーを設け、主体的に学習取り組めるようになっているのが特色である。</li> <li>○ 見開きごとに「学習のめあて」があり、ソーラン節などの北海道の民謡を取り上げ、児童の学習意欲を高められるようになっているのが特色である。</li> </ul>
そ の 他	<ul><li>○ 巻末の「音楽ランド」では、Short Time Learningを設け、既習曲を 英語で歌うようになっている。</li><li>○ WEBリンクのマークを設定し、学習に広がりをもたせる資料や動画などが用意されている。</li></ul>

## 令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

## 教科名 音 楽

番号	発 行 者 略 称 教 科 書 番 号
観点	教芸(教育芸術社)<小学生の音楽> 102、202、302、402、502、602
取扱内容	<ul><li>○ 授業の目標達成するための学習活動の取り扱い方について 題材の冒頭、ねらいや学習目標、活動内容がわかりやすく明記され、授業が焦点化しやす くなっている。</li><li>○ 歌唱(教材)について</li></ul>
学習指導要領の	第1,2 学年~ わかりやすい歌詞の曲が多く、遊びながら歌えるようになっている。 第3,4 学年~ 「歌声」のコーナーを設け、響きのある声を出して歌えるようになっている。 第5,6 学年~ 歌声の重なりや曲の構成や旋律の特徴を感じながら、表現できるようになっ ている。
要領の総則及	○ 器楽(教材) について 第1,2 学年~ 指導時期を集中させ、基礎基本の確実な定着が図られるようになっている 第3,4 学年~ アンサンブルで互いの楽器を聴き合って表現する活動ができるようになっている。 第5,6 学年~ 楽器の組み合わせや曲想などを工夫し、主体的に表現できる活動になっている。
総則及び各教科、名	○ 音楽づくりについて 第1,2 学年~ 吹き出しなどを使い、身近な音を使った音づくりができるようになっている。 第3,4 学年~ リズム楽器や身近な楽器を使って、お囃子や打楽器を使った活動になっている。 第5,6 学年~ 音楽の仕組みを生かしたアンサンブルをつくったり、和音に合わせた旋律づ くりしたりするなどの活動になっている。
各学年の目標・六	○ 鑑賞について 第1,2 学年~ 曲に合わせた身体表現等を通して音楽要素を学習できるようになっている。 第3,4 学年~ 楽曲の構造に注目して鑑賞したり、日本の音楽の特徴を感じたりする活動に なっている。 第5,6 学年~ 楽曲の構造や楽器構成などから作曲者の思いを感じ取り、曲の美しさを感じ 取る活動になっている。
内容等	<ul><li>○ 学習指導要領に則る内容について 「ドレミで遊ぼう」「いろいろなリズムを感じ取ろう」「いろいろな音色を感じ取ろう」に おいて、考えを広めたり深めたりする活動が取り上げられている。</li></ul>
内容の構成・	<ul> <li>○ 内容の構成・排列について</li> <li>第1,2 学年~ 就学前の学習と関連させながら、楽しく音楽の授業に参加できるように、リズムや身体表現が排列されている。</li> <li>第3,4 学年~ アンサンブル教材などを通して、協働して音楽活動する楽しさを味わいながら、音楽の反復や変化について、系統的に学習できるようになっている。</li> <li>第5,6 学年~ 音楽の仕組みを生かしながら、声や楽器の重なりを生かす活動を取り入れるなど、系統的・発展的に構成されている。</li> </ul>
排列・分量等	○ 分量について 〈歌唱〉 1年37、2年37、3年23、4年24、5年20、6年22 〈器楽〉 1年15、2年15、3年27、4年14、5年9、6年8 〈音楽づくり〉 1年8、2年8、3年6、4年6、5年2、6年2 〈鑑賞〉 1年11、2年17、3年22、4年66、5年28、6年19 〈総ページ数〉 1,2年83ページ(11%増)、3年87ページ(16%増)、 4~6年87ページ(16%増)
配慮等の	<ul><li>○ 写真やイラストの上の文字については、特別支援教育やユニバーサルデザインの視点で見やすく配色されている。</li><li>○ 巻頭の「音楽の木」で1年間の見通しがわかりやすく提示され、巻末の「ふり返りのページ」では、音楽に必要な用語などをわかりやすくまとめている。</li></ul>
そ の 他	○ WEBリンクのマークを設定し、学習に広がりをもたせる資料や動画などが用意されている。